

保育の特色

第五保育園は、異年齢交流保育実施園です。

乳幼児期は人と人の関わりを学ぶ基礎の時期です。だからこそ多くの年齢と関わるができる環境を用意しました。小さい年齢の子どもは大きい子どもから遊びを教えてもらい、大きい年齢の子どもは教えながら成長し、小さい子どもをいたわる気持ちを育てます。

3歳児、4歳児、5歳児は基本的に異年齢がまざりあった「家」になっています。

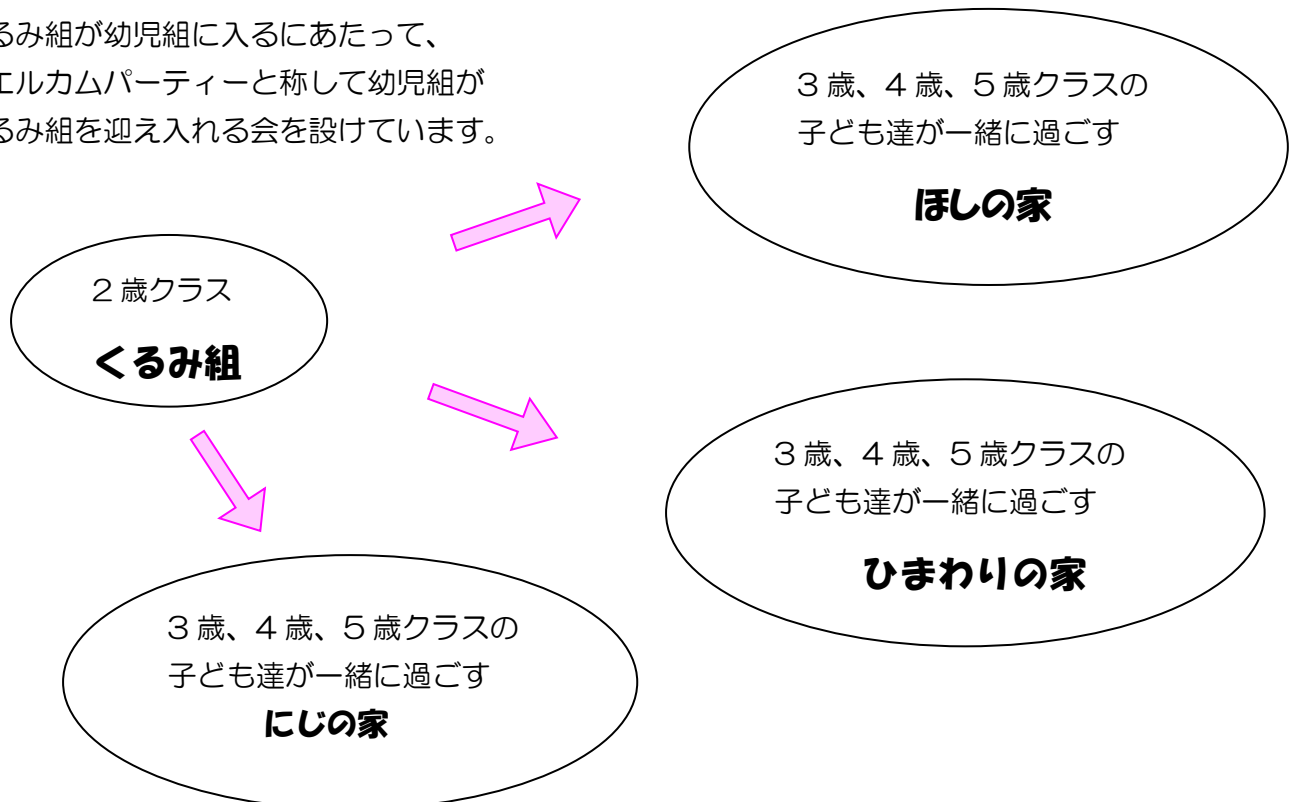
同年齢で遊ぶ楽しい一時、同年齢の課題保育の時間もあり、バランスよい保育をしています。

年間を通し、自由に遊ぶ時間帯には幼児組の子どもたちは赤ちゃんと遊んだり、身のまわりのお世話をしたり自由に各クラスを往き来して子ども同士のふれあい交流を深め、きょうだいのような関係をつくっています。

異年齢の構成

段階的に幼児組との交流を持っていきながら、毎年2月くらいになると2歳クラスの子も達は3つにわかれ、それぞれ「ほしの家」「ひまわりの家」「にじの家」で過ごすようになります。

くるみ組が幼児組に入るにあたって、ウエルカムパーティーと称して幼児組がくるみ組を迎え入れる会を設けています。



*0～2歳クラスを乳児組・3～5歳クラスを幼児組と呼んでいます